

C 協働学習 (C3) 主な学習活動

夏休みにテーマカラーを決め、身の回りにある色を写真に撮って集めた。写真の切り方や大きさ、配置に自分らしい工夫を加えて構成する。

1 本時のねらい

集めた写真の色と形を生かした自分らしい色面を構成することができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

電子黒板

授業支援

3 参考にしてほしいポイント

- ・自分が撮影した写真をもとに色面構成ができるので、主題を生み出し、短時間で楽しく作品制作ができる。
- ・画像を基にした多くの情報共有が短時間でできるので、相互鑑賞活動を通して見方や感じ方を広げ、学びの広がりや技能の向上が期待できる。

- ・ **思考ツール**として
→写真画像の切り取り、拡大縮小、移動が容易である。
- ・ **情報共有ツール**として
→生徒間で作品を共有し手元でじっくり鑑賞できる。
- ・ **タブレット持ち帰りによる学びの広がり**
→校外での取材活動により、身の回りの美術を体験できる。当日欠席だった生徒が自宅から課題を提出し、授業に参加できた。



段階場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・授業支援ソフトのシートに課題で撮影してきた写真を貼り付けて構成する。(班活動) ・2枚目のシートに作品説明を打ち込む。 	(ロイロノート・シートの送信と個人での利用) <ul style="list-style-type: none"> ・1枚目の白いシートに写真の切り取り方、大きさや配置を工夫して画面をイメージカラーで構成する。班で協働的に作品制作を進める。 ・タブレットに表示された2枚目のシートに、「色、制作意図、お気に入り写真の紹介」について文字と写真で説明する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・提出箱に提出された作品をクイズ形式で鑑賞する。(全体) ・生徒間通信で友達の作品のよいところをカードにして送る。(個人) 	(ロイロノート・提出箱の回答共有) <ul style="list-style-type: none"> ・1枚目のシートを電子黒板に映し、作者の意図やお気に入り写真をクイズ形式で考え、2枚目のシートで答え合わせをする。 ・提出箱内の作品を共有し、生徒間通信で相互鑑賞を行う。友達の作品のよいところをメッセージカードにして送り合う。鑑賞と評価のポイントを明確にする。



- ・ 緑色
- ・ 家の庭で撮った植物の写真をもとにして、明るい緑色の写真をはめ込んでいきました。
- ・ 枝豆の写真がお気に入りです。
- ・ 自分の写真だと左下の写真がお気に入りです。

4 活用効果

作品を見ながら、互いのよさを認め合い、聴き合う時間になって、協働的に鑑賞することができた。また、写真素材を集める段階からそれぞれの生徒の個性が表れる。相互鑑賞会は互いの見方や感じ方を知る機会にもなり、生徒にとって見方や感じ方を広げることができる楽しい時間になった。

5 アドバイザーからのコメント

生徒たちが身近なものに興味を持ち写真を撮り、それらを組み合わせる一つの作品を作る活動は、素晴らしいですね。「緑色が基調」「赤色が基調」などの写真を構成する時の、生徒たちの意図や価値観などをお互いに共有できること、それはコミュニケーションの基本と言えます。(東京工業大学 赤堀侃司)

ICTを活用することにより実現しやすくなった学びを形にしている点に好感が持てます。個別最適化した作成過程と協働的な学びによるフィードバックは効果的と考えます。今後、制作目的を地域の活性化に生かすなどして真正の学びへ発展すると、より高い効果が期待できそうです。(福島大学 平中宏典)